

- 提言チーム名 東区職員提言検討チーム
- テーマ 25年後の東区～東区未来予想図～
- 概要



- ・豊かな自然や悠久の歴史・文化に富み、多くの大学が立地するなど地域資源に恵まれているまち『東区』。
  - ・将来にわたり元気で魅力を生み出すまちであり続けるには、社会の変化に柔軟に対応し、人・自然・文化が共存するとともに、互いの持つ力を最大限に引き出すことが重要。そのためには、今以上に市民・企業・行政が一体となり、まちづくりに取り組むことが必要。
- 今あるものを『磨き、引き継ぐ』力、守るだけでなく『新しい魅力』を創り出す力、人と人がまちづくりに『かかわり育む』力、これら3つの力が東区が未来へと歩む原動力となる。

○提言

『みんなで磨き創り、未来へと歩むまち、東区』を東区の将来像（ビジョン）とし、その実現に向けた施策を下記のとおり提言する。

【磨き、引き継ぐ】

1. 自然
  - ・体験型環境保全活動の推進（親子参加型、スポーツとしての保全活動 など）
  - ・エコツーリズムの推進（宿泊型ボランティア活動 など）
2. 文化
  - ・九州大学移転跡地を生かしたアーティストの育成（アートヴィレッジ開設）

【新しい魅力】

1. アイランドシティ周辺
  - ・海のセントラルパークづくり（エコパークゾーン周回海岸遊歩道の整備、東区校区対抗大運動会の開催、中核的体育館等スポーツ関連施設の整備）
2. 千早駅周辺
  - ・行政機能の集積
  - ・東区ミュージックフェスタの開催
3. 香椎駅周辺
  - ・香椎まるごとマーケット（学生が企画運営する個性豊かなショップ など）
  - ・香椎まるごとミュージアム（東区アートフェスタの開催）
4. 箱崎周辺
 

九州大学移転跡地・建物を活用した

  - ・文化交流センターの整備（建物を多様な文化が交流できる場として提供）
  - ・芸術家村の整備（建物をアトリエとして提供）
  - ・大芝生広場の整備（敷地の地下に雨水貯水槽などの防災機能を付加）

【かかわり育む】

1. 地域貢献ポイントカードの導入（優秀者・企業へは市税減免やPRなどのメリット）

○提言チーム名 博多区職員提言検討チーム

○テーマ -25年後に向けた職員提言- 博多区の将来像

○概要

**【将来像1】**

地域への愛着を持ち、みんなが参加する活発なコミュニティがあるまち



◇取り組みの方向

- 1 高齢者や障がい者の地域活動参加の促進と子ども達への経験や伝統の継承
- 2 イベントなどを通じて誰もが参加しやすいコミュニティづくり
- 3 共用スペースなどを活用した集合住宅のコミュニティづくり
- 4 企業メリットを踏まえた事業所のコミュニティ参加促進（地域広報で取組み紹介）
- 5 子どもの頃から住みやすさを繰り返し学習するなど博多区への関心と愛着の醸成

**【将来像2】**

子どもや高齢者・障がい者に優しく、みんなが健康で生きがいを持てるまち



◇取り組みの方向

- 1 異世代間交流や高齢者・障がい者の社会参加促進等による見守り体制の構築
- 2 博多の健康的な郷土料理を活かした食育推進と食文化の伝承
- 3 メディアや企業を利用した生活習慣改善に向けた啓発（イベントとのコラボ等）
- 4 楽しみながら自分に合った健康づくりができる環境整備（公園設備の整備等）

**【将来像3】**

夏涼しく、環境と共生するまち



◇取り組みの方向

- 1 ヒートアイランド現象の抑制（屋上緑化、ミスト冷却装置等）
- 2 環境意識の啓発による再生可能エネルギーの導入促進
- 3 事業所や街中のごみ減量促進（優良事業者への税制優遇措置等）

**【将来像4】**

交通や防犯に関する基盤整備が進んだ安全で住みやすいまち



◇取り組みの方向

- 1 博多駅筑紫口側の整備や空港周辺道路の整備
- 2 交通結節機能の強化による南部交通利便性の向上（フィーダーバス普及等）
- 3 良好な自転車走行空間の確保と危険走行等の解消（小学生からの啓発等）
- 4 公共建築物の形状の工夫や防犯設備の充実による犯罪防止

**【将来像5】**

変化に富んだ観光のまち



◇取り組みの方向

- 1 回遊路の整備や外国語などのおもてなしスキルの向上
- 2 伝統工芸のブランド化と芸能人の活用等によるPR
- 3 大規模駐車場の整備や駅や港から観光地への移動利便性の向上

- 提言チーム名 中央区職員提言検討チーム
- テーマ 未来への5つの挑戦(エネルギーとエコと絆の中央区)
- 概要 「エネルギー=ずっと活力が続くまち」「エコ=環境にやさしいまち」「絆=人と人がつながるまち」から生まれる、「5つの未来像」に挑戦することを提言。

エネルギー

絆

### 提言1 多文化共生の街 中央区 ～商業と住環境の両立～

25年後も商業の中心であり続けるため、購買力のあるアジアの人々の居住を促進し、商業の振興を図ります。また、都心から近い須崎埠頭を開発します。

- ・ マンションの建設、インターナショナルスクールや、外国人医師の診察可能な病院の設置など居住環境を整備し、アジアの外国人の居住を促進。
- ・ 副次的に外国人に対する「おもてなしの心」や、観光客の増加を実現。

### 提言2 アジアに開かれた魅力ある中央区

エネルギー

世界中から観光客やビジネスマンが集まる活力あふれる都市となるため、須崎埠頭を既存のコンベンションゾーンと併せて開発し、アジアの玄関口として整備します。

- ・ 須崎埠頭に第2コンベンションゾーンや国際港ターミナル等の整備。
- ・ これを支える柱として、①食をテーマにした市場等の再編、②観光をテーマにした名所の開発、③活気をテーマにしたイベント会場の充実 を実施。

### 提言3 人 つながる 中央区

絆

～ as you like(あなた次第)のまちを目指して～

コミュニティが持つ「課題解決」と「自然発生」の二面性の接点こそ、人がつながるきっかけとなり得ます。そんな「まちのコラボステーション」を提案します。

- ・ 課題解決に向かう「必然のつながり」と背景を持たない「偶然のつながり」を連携させる場として、「公民館」を地域の居間「まちのコラボST」に転換し、地域が運営。
- ・ 「まち・地域」支える緩やかな「つながり」の中で、人々の多様な物語を生み出す。

### 提言4 チャリシティ 中央区

エネルギー

エコ

自転車の放置や事故件数が多い中央区は、自転車の大きなメリットに注目し、「乗りやすい・とめやすい・歩きやすい」チャリシティを目指します。

- ・ ハード面の整備；アーケード付自転車専用レーンを整備など。
- ・ ソフト面の整備；自動車を規制する「自転車天国」や、「自転車保険の加入」など。

### 提言5 緑と憩いとエコの空間 中央区

エネルギー

エコ

ネット・高齢化社会においても活気溢れる街であるために、緑とエコをキーに新しい街の魅力を創造し、憩いを求める多くの人が集まる街を目指します。

- ・ 都心部に「グリーンベルト」を設け、自動車を代わる足として路面電車を整備。
- ・ 市役所跡地と既存の公園が一体となった「天神セントラルエコパーク」の整備。
- ・ 警固屋台公園と屋台リーグによる魅力ある屋台の創造。

中央区職員提言チーム  
Dramatic Future Chuo!



○提言チーム名 南区職員提言検討チーム

○テーマ 『25年後も 子どもからお年寄りまでみんなが暮らしやすい街・南区』

○南区の概況

- ・面積は全市の9%で7区中5番目だが、人口は16.9%で2番目。
- ・昭和30年代半ばから開発が進んだ戸建住宅や大規模団地が広がる「生活のまち」。
- ・人口は横這い傾向（H22国勢調査確定値）。高齢化率は26%を超える校区もある。

○提言概要

「若者や子育て家族が住みたくなる街」「お年寄りがいつまでも元気で暮らせる街」の2つの視点から、暮らしのいろいろな分野にわたって提案。

●住みたくなる街並みづくり

- ・自然環境調和型の新しい暮らしの街を創造
- ・2世代、3世代住宅を応援
- ・オシャレな街区を整備
- ・子育てに優しいマンションを普及促進

●自然を楽しむ暮らしをしよう

- ・森や池のそばにステキなお店誘致
- ・自然体験イベント充実
- ・周辺市町村とコラボ  
産直店、新規就農者養成など

●仕事環境

- ・交通不便地に環境関連産業や社会貢献企業を誘致  
雇用拡大、高齢者の職場提供  
交通利便性も同時に向上

●交通システム

- ・新交通システム導入  
LRT（軽量軌道交通）など
- ・新幹線の新駅を誘致
- ・巡回バス・タクシー運行
- ・カーシェアリング促進  
主要ポイントにステーション設置、  
電気自動車など低公害車を利用

●魅力、アトラクションづくり

- ・自然動植物園を整備  
既存施設をパワーアップ
- ・プロスポーツチームのホームタウン
- ・賑わいスポットづくり  
B級グルメロードなど

●学校や医療機関など

- ・全国ブランドになる特色ある学校や、  
保育所、幼稚園を整備 or 誘致
- ・メディカルモール整備  
いろいろな分野の医療機関を集積

●健康づくり

- ・自転車やウォーキングの普及促進
- ・アスレチック公園など環境整備
- ・健康食を区役所食堂などから普及拡大
- ・元気な高齢者を応援

●地域コミュニティ

- ・公民館をコミュニティ・ステーション化  
カーシェアリングやレンタサイクルの  
ステーションとしても活用、  
教養・スキルアップ講座充実
- ・世代間交流を促進

さあ、みんなで、  
明るい未来をつくらう！



南区広報担当キャラクター ため蔵ファミリー

- 提言チーム名 城南区職員提言検討チーム
- テーマ 人と出会い、対話が生まれるまち  
～「おたがいさま」の気持ちが紡がれる～

○概要

市内で最も高齢化率の高い城南区は、企業で能力を培ったり人脈を豊かにした高齢者が多いばかりでなく、区内に2校の大学（学生数は約2万5千人）があることから、専門性のある人材にも恵まれ、平日の昼間は「人材の宝庫」である。

このような人材が持つパワーを積極的にまちづくりに活かすためには、お互いが出会うための「場」「拠点」、対話が生まれるための「共通体験・共通活動」が必要である。

そこで、職員提言チームは、区内に「ニッコりんC a f e」と「ニッコりんセンター」の設置を提案する。

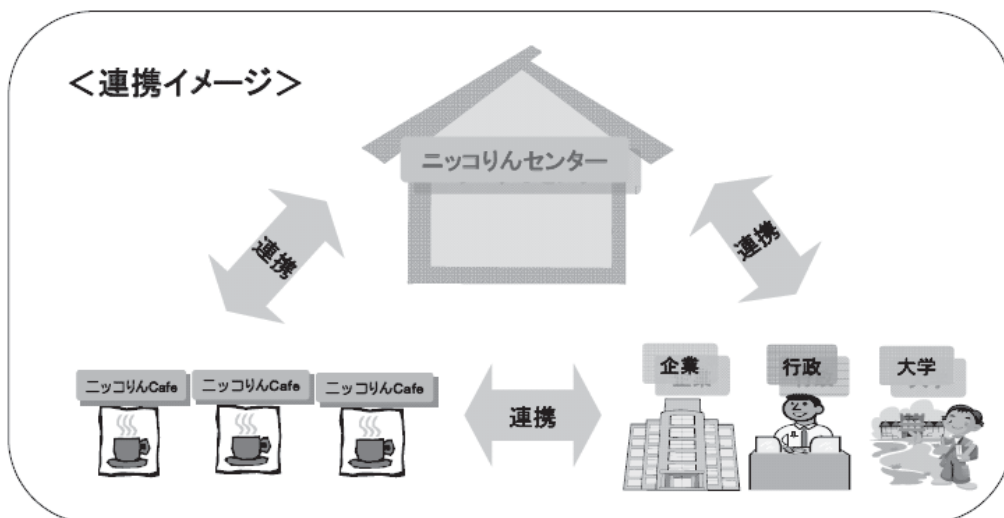
「ニッコりんC a f e」と「ニッコりんセンター」って  
どんなところだろう？



城南区シンボルキャラクター  
油山の妖精 ニッコりん

誰でもふらりと立ち寄れる「ニッコりんC a f e」は、毎日のように講座や催しものが行われる地域住民憩いの場であり、地域で困ったことも、常駐するスタッフが必要な機関に連絡をとって、スピーディに解決に導いてくれる。

「ニッコりんセンター」は、コーディネーターを中心に企業や大学、行政などの関係者が集まり、「ニッコりんC a f e」では解決できないような困難な課題も、コミュニティビジネスをはじめとする様々な手段で解決していく拠点である。



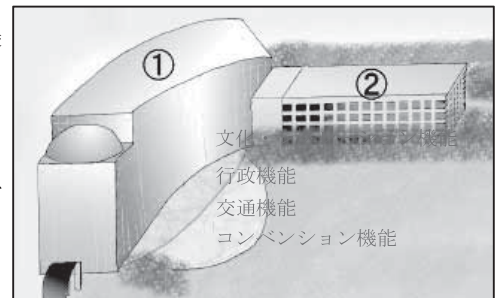
職員提言チームは、これからの地域社会や地域づくりには、「ニッコりんC a f e」や「ニッコりんセンター」のような世代を超えて集まることのできる「温もりのある場所づくり」とともに、対話が生まれ「おたがいさま」の気持ちが紡がれる「共通体験や共通活動」が必要不可欠であると考えている。

## ○提言チーム名 早良区職員提言検討チーム1班

## ○テーマ 「早良区ブランドプロジェクト もっと早良が好きになる」

## ○概要

- ・ 現早良区役所は、地下鉄・バスの結束地点に位置し、立地条件が非常によい。ここに西部副都心の文化拠点としてSCM（サワラ・カルチャー・ミュージアム）を整備。区役所は、早良区の人口密集地である区中部へ移転。
- ・ ももち地区のブランド力を強化。観光客向けのショッピングストリートや、外国語サインの整備。まちの緑化を推進し、快適でおしゃれな生活ができるまちへ。
- ・ 早良区を縦断する交通網を整備するとともに、歩道のバリアフリー化や、街路樹、街灯の整備を進め、まちあるきイベントを実施し、快適に「まちあるき」ができるまちへ。
- ・ 早良区南部の自然を活用し、食と健康、美（芸術）をキーワードとしたイベント「大早良祭」を開催。日本国内、世界へ向けて、魅力発信・集客を行う。

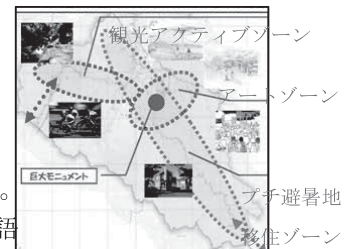


## ○提言チーム名 早良区職員提言検討チーム2班

## ○テーマ 「SAWARA BOWL ～日常的に人が行き交うまち早良～」

## ○概要

- ・ 25年後、福岡市が活力あるまちであり続けるためには、チャレンジする人を創出し続けるまちであることが大切。その土壌となるのが「ひと」の「交流」である。
- ・ ひとの交流拠点、まちづくり活動の拠点「SAWARA BOWL カフェ」をオープン。
- ・ 単身赴任や地元を離れ一人暮らしする学生などを地元住民と結びつけ、福岡市（早良区）を第二の故郷として、交流を深めるしくみ「疑似親戚倶楽部」。
- ・ 女性や学生、若者、業種転換を図ろうとする人などの起業を支援。人材交流、情報交換、人材発掘の場となる「プチ起業塾」の開校。
- ・ 豊かな自然を有する福岡市の貴重な憩いの空間である脊振山麓に芸術村を整備。クリエイターや、芸術家、有名人、富裕層らの活動地・避暑地へ。
- ・ 外国人が活動しやすいまち「外国人うえるかむプロジェクト」（無料外国語講座、教室受講生は語学・観光ボランティア登録。英語村における異文化交流、語学研修）
- ・ ももち～西新地区を中心に持続可能な都市（サステイナブル・シティ）として、人中心の社会を構築。



## ○提言チーム名 早良区職員提言検討チーム3班

## ○テーマ 「いきいき生活支援 誰でも楽しく簡単に参加できる福祉」

## ○概要

- ・ 子ども園を中心に、赤ちゃんから高齢者・障害者まで利用することができる施設を整備。昔の大家族のような空間をつくり、世代間交流を通じて地域の活性化に繋げる。また、ボランティアをしたい人・欲する人の情報拠点としての機能を兼ねる。
- ・ ボランティアポイントの創設。ボランティアを行うことで、ポイントがもらえて、さまざまな特典を付与。ボランティア参加のきっかけとインセンティブを高める。
- ・ ボランティアコーディネータを育成し、さまざまな関係機関と連携し、住民と共同しながら、ボランティア活動をコーディネートしていく。



- 提言チーム名 西区職員提言検討チーム
- テーマ 「25年後の『西区の宝』を考える!!」
- 概要

西区の25年後を見据えた提言

→ 現在の「西区の宝」を磨き、新たな「西区の宝」を築き上げる。

●現在の「西区の宝」 （「西区基本計画（平成16年度策定）」より）

- ・身近にある多様な「**自然**」
  - ・温もりのある「**市民**」
  - ・「**大学**」の知と人材
- 現在の「西区の宝」を磨きつづける。



●25年後の新たな「西区の宝」

- ・魅力を気軽に味わえる「**リゾート**」
  - ・みんなが安心して暮らせる「**福祉のまち**」
  - ・いつでもどこへでも行ける「**便利なまち**」
- 現在の3つの宝に加え、新たな「西区の宝」を築き上げる。

★25年後のイメージ★（抜粋）

○今津～北崎の自然のままの美しい海岸線を残し続けている。

→ **西区のひととき優れた自然美を「世界的遺産」へ**

○地産地消直売所，花市場，レストランが開設され，西区の自然を「食べる」ことや，「香る」ことができる。

→ **西区の魅力を賑わいに!! 自然を「五感で味わう」**

○九州大学の伊都キャンパスへの移転が完了し，学生の賑わいに溢れ，周辺地域との交流が広がり，一帯が「学園都市」として発展を遂げ，次世代エネルギーの開発が進み，身近なところで実用化されている。

→ **世界から注目される「学術エコ都市」へ**

○能古島が小戸や今津からロープウェイで繋がれ，また，3つの島（能古島・玄界島・小呂島）が観光潜水艇で結ばれるなど，身近な「都会のアウトドアリゾート」として，多くの人を訪れている。

→ **中心部から30分の「1Dayトリップ」～ふらっと、何度でも行きたいまち～**

○姪浜～橋本が地下鉄で結ばれることにより，福岡の地下鉄環状線が完成し，利便性が向上すると共に，北崎～今津～九州大学～九大学研都市駅などの拠点が無人モノレールで結ばれ，交通不便地が解消されている。

→ **お出かけしやすい「交通」で，住む人・来る人の回遊が盛んに!!**

☆25年後の「西区キャッチコピー」☆

- 花と緑，生き生きとした笑顔と人の温もりがあふれるまち
- 伝統や自然と発展した近代文化がほどよく調和するまち
- 気軽にふら～っと出かけたくなる身近なリゾート地

